

くらしナビ / 学 ぶ

@大学

国際リーダー育てる学生寮

留学生と交流、討論や英語での主張など義務化

学生寮の新設が相次いでいる。外国人留学生や地方の学生を呼び込もうとの狙いととも、多様な交流を促し、教育的効果を期待する。各大学の動きを追った。

●二十数カ国から来日

JR中野駅から徒歩9分。早稲田大学の「国際学生寮WISH」（東京都中野区）は2014年春開設され、現在約870人が生活する。寮費5万3000円（水道光熱費含む）。保証金などを含めても、一般のアパートを借りるより安くすむだろう。新入生支援という位置づけのため2年間限定で、4割が留学生。韓国、中国など二十数カ国から来ている。

個室は5畳ほどのワンルームで、ベッドや机、冷蔵庫、エアコン付き。4人1組でリビングと洗面所を共有する造りは、米国の大学に多いそうだ。「留学生と日本人学生、学年や学部もバラバラになるよう部屋割りし、積極的な交流を促しています」と担当者。共同のシャワールームや浴室、音楽室、フィットネスルームも備え、ビルは11階建て。共同キッチンに並ぶさまざまな「マイ炊飯ジャー」に生活ぶりが垣間見えた。

2倍強の申し込みがあり、希望理由や将来についての作文を書かせ、選考している。「グローバルリーダーの育成を目的に校友会から寄付金が継続的に投入されており、単なる寄宿舎でなく、教育的要素を持っている。意欲のある学生に来てほしい」と、レジデンスセンター長の興石直幸教授は説明する。

週1回、参加が義務の教育プログ

ラムがユニークだ。企業の課題についてグループで討論したり、英語で主張の仕方を学んだり、社会人としての基礎力を磨く。「文化の違った者同士でコミュニケーションし、学部とはまた別のネットワークを作ること、後々大きな財産になるでしょう」と興石教授。

寮生の相談役として入居するのが「RA（レジデント・アシスタント）」と呼ばれる3、4年生。RAは寮費が無料で、こちらも厳しい選考がある。海外の留学先でRAに世話になった学生が、「今度は私が」と応募してくるそうだ。

同大は大学全体の留学生数を、現在の約5000人から倍増する計画。そのためには寮の整備がセットになるという。

●慶応大、東大、明治大なども

慶応大学は日吉キャンパス（横浜市港北区）近くに、留学生と日本人学生が混住する200室の「日吉国際学生寮（仮称）」を17年3月新設する。やはりリビング、トイレなどを4人で共有する造り。西松建設による再開発事業の一環で、同社の子会社が運営管理する。さらに、パナソニックなどが進める同区の再開発地区にも、163室の国際学生寮が18年3月に設けられる予定だ。

一方、東京大学は東京都文京区の東大付属病院分院跡地に「目白台国



共同のキッチンは各階にあり、自炊ができる。東京都中野区の早稲田大学「国際学生寮WISH」で

際宿舎（仮称）」を計画。明治大学は和泉キャンパス（東京都杉並区）に国際学生寮を予定している。グローバル化を進める大学にとって、国内外から優秀な学生を集めることが課題となっている。

「寮を整備したいという大学は多いが、地価や建築費が高騰しているのも現状。寄付金などがないと、新築で建てても採算が取れない恐れがある。既存の建物を全面改修するケースもあります」と、事情に詳しい不動産関係者は解説する。

●他校との差別化図る

芝浦工業大学は大宮キャンパス（さいたま市）近くに3月、男子学生寮「東大宮学生寮」を開設した。大手メーカーの独身寮を改修したそうで、清潔で機能的な造りとなっている。ワンルーム100室、食事つき。寮費2万2000円（管理費、水光熱代、食事代は別）。やはり先輩学生のR

A（レジデント・アドバイザー）が、寮生の相談役として入居する。

同大は13年春、全国に先駆けて国際学生寮を開設し、RA制度など運営ノウハウを蓄積してきた。英語が飛び交い、食事はつかない国際寮と、今回の男子寮と、選択肢を増やすことで全国から学生を呼び込みたいという。大宮学事部の村川勇次次長は「共同生活の経験が減っている中で、社会で必要なコミュニケーション力や人間力を養い、規則正しい生活を身につけてほしい」と話している。

学生マンションや寮の運営・管理を行っている「ナジック学生情報センター」（本社・京都市）によると、今どきの学生寮のキーワードは「コミュニケーション支援」「教育寮」「国際化」の三つ。「18歳人口の減少とともに他大学との差別化や魅力づくりとして整備する大学が増えている。全国的にニーズはさらに加速する」と見ている。【五十嵐英美】